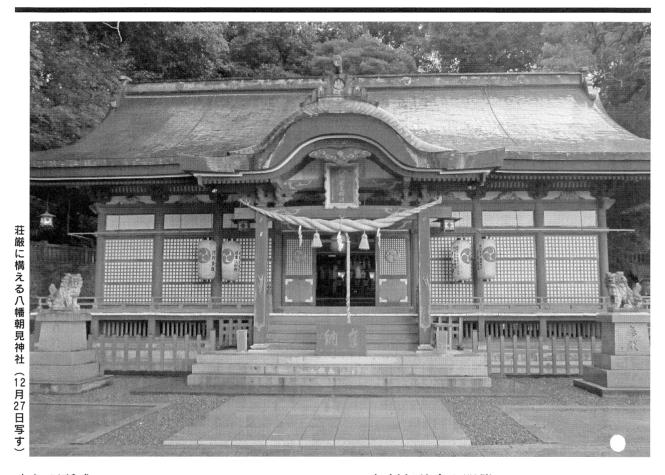
http://www.beppu-cci.or.ip

豊かな自然と潤いのある 生活をサポートします。



地域をみつめ 未来をみつめ



年	頭	所	r感

別府商工会議所会頭	千壽健夫	•	•	•	•	2
	別府商工会議所会頭	別府商工会議所会頭 千壽健夫	別府商工会議所会頭 千壽健夫・	別府商工会議所会頭 千壽健夫・・	別府商工会議所会頭 千壽健夫・・・	別府商工会議所会頭 千壽健夫・・・・

- ・大分県知事 広瀬勝貞・・・・・・3
- ・別府市長 浜田 博・・・・・・3
- ・別府商工会議所女性会会長 梅野朋子 4
- · 別府商工会議所青年部会長 寺崎賢治 4

### →平成25年度永年勤続者表彰式並びに

### 永年会員感謝状贈呈式

- ・永年勤続従業員の皆さん・・・・・5
- ・永年会員事業所の方々・・・・・・・6

### ★中小企業相談所主催

・11・12月のマル経融資・・・・・・7

### ・無料相談会を開催

- ↓創業塾 12名が卒業 ・・・・・・
- ◆クレーム対応研修会に参加しませんか? 7
- →理財・サービス業部会企業再生セミナーの開催 8
- →市が物品納入業者を募集 ・・・・・・8

### →自衛隊

・退職自衛官を雇う企業を募集中!・・・8

### 別府商工会議所

〒874-8588

大分県別府市北浜2-9-1

トキハ別府店7階

TEL:0977-25-3311 FAX:0977-26-2232 URL: http://www.beppu-cci.or.jp/

E-Mail: webmaster@beppu-cci.or.jp

### 沸々と湧き出る 別府の再生」を目指して 力

を

議論

全 地

玉 振

商 興

工会

議 り る を け

がここ

府

市

を

文

1

会

場

大 す

会 Ź る

i

n

べつ

يَّ 2

O 所 か 観

1 観 た

興

によ マに、

域 地 え

あ

1

域に

お 0

け

な に

顔

が

見

てくる」

大会

地

域

を

磨

ば



別府商工会議所 干 壽健夫 会頭 おり 事 干 このような 業 っます。 を 年

新 あ け ま 7 お

び な 申 く 新年 様に 上げ を お お迎れ ま まして えのこととお はつつ 慶が

環境 たところでございま さて、 は、 明るい兆し 徐々にでは アベノミクス効果によ わ が 国 が差し あり [経済を ま すが先に 込ん 取り巻 0 行 き 7 昨市

明るさは えて 待とも 今後 本 ゆってく. にとりましても、 お 市 め、 0 経 済の幹 いるところです 本 何 へれるものと大いに本市観光再生に追い より ま た、 である 0 薬 賃 金上昇 7 あると 先行 観光 い圧 ŧ 考 期 風 0 産 市 と百 ま

めでとうご

を館 うざいまつ 新お 売 元却以一つ目 莂 府 来は、 商 45 工 たし 皆 平 会 館 様 成 7 方に + 建 お 設 九 り もご心 事 年 まし 業 0) 旧 でた配会

関 平 ひ 有地 係各位 年 干二 案内 ただきました。 0 一月より ある不 のとお 0) 深 いご理 り、 建設 老 泉 を開 解 市 を 長 始用賜 を し、 b 3 始 せ 8

とし 活用し す。 経 多くの 成二 済 そ 再 一十六年 7 生への拠点として大い りますが、完成 人々が集 いただきたいと存じ -初夏 0 語らい、 完 成予  $\mathcal{O}$ 暁 定

二 つ する役 + 兀  $\Box$ 目 0) 員 は、 商 ま 工 0 議員約千五 会 0 三日 月二 議 所会頭 + 間、 百 を 全 日 名 始 玉 か  $\otimes$ Ŧī. 5

平度に数十年に一点ような中、本所で 実 することとし 所で 度 は 0 平 大成 とし 振興

済効果は い的 ンスとなります |効果に るところです。 皆様方におか を全国に発 本 本大会は、 され も大 勿論、 、ます。 別府: 41 信 に期 ので、 古る絶好 そ れ の二次 ま して 冷待を 大分 直 公的三 接的 も 寄 0 県 チ 0) せ 次 経 長 ヤ 7 魅

常議員

名誉会頭 常任相談役・常議員

す。 しカ -培って 0 ま す , ようお にて是 まい り 走非ともお力! りました 願 47 申 おも 上 ゖ゙ 添 ま え

賜な年

平 る け 様 願旧 一成二十 年となっ る馬 にとり に亘 邁進 ます 41 年 一のご 申 ま のごとく、 L り L よすのご 上げ ますご 挨拶といたし り 平 7 六 な 成二十 年 ま ま り す ますととも も ま 41 りっ よう、 精力的 す 健 理 大いに 六年 解ご支 ますの が、 勝 を ま が、 祈 に 本 飛躍 に、 援 諸 所 天 を 事 は 皆 す か

副会頭頭

**'14** 頌春

池安河菅中池髙山久伊津伊加久関畑小神竹桝小東福坂中杉平浦東長瑞西津菊梶佐河衛岩西千 田間

山田橋口田藤末藤藤保 松保内 喜田島本野本野松保野木田末口原藤村藤瀬 一晃知 邦英大房善一友武邦哲秀貴富公謙健 記

修秀美博泰力啓洋伸吉孝 代 二之 代子太之夫 壴 郎助夫浩高次克敦大弘壽八雄行博行久弘雄男雄雄男二夫

務理事

小佐松中緒木梅竹梅柳佐三上赤諸澤藤山三伊神髙片河生中河河西松末但和石栗南尾板 渡 勢 野木田尾方村野中野川藤尻月嶺石 原﨑浦戸田宮倉野野塚野越 邊 本次馬田田本里倉井

議秀 裕敬リ典正光正一英純勝恭和雅茂正武貴利功 啓真貴重 席 恵 順 肇工子則保哉え己郎サ將樹生弘郎世也美郎保彦次勝治之

到 扇 商 五

会 議

# 新年に寄せて



大分県知事 瀬勝貞

年 明 け ま して お めでとうご

をお迎えになられたことと つお慶び かれましては、 商工会議 申し上げ 所会 健やかに新 います。 員 の皆 [様方 心

が、ここにきてようやく明るい状況が続いておりまし が聞こえるようになって )あり、 県勢 深く感謝申し上げます。 亚 景 0 の発展に多大なご尽力一平素から地域経済の振 気は緩やかに回 県内におい ても 厳し き 復 た

うととも 国の経 0) を確 地 地域経済の下立 間たるも 力. 済対策を積 県では 0 長期 展プラン2 のとするた 景 総合計画 を記を行 気 口 復 Ō

発 道 取り組 政 展に向けて 政策展開の: みます。 など、 0 開 質 館、 芽出 (的な: 0) 基盤 新 しにも 仕 置めと い大分 九州 上げ 自 積 極新 県動 的 た 0 車県

にを 特に、県内企業数 力を発揮していただくために 占める中小企業 来が、思う存い 来数の99%以上 分 上

> ることとして 業を応援する取 定 大大分 いま 頑 中 張る中 企 業 化小活 標 L

性昨

化 年

**んにもご出演** と豊後 に N 地 県 C 認定されるなど明 域観 「おんせん県おおいた」 が世界農業 大野. Mも大好評となり、 市 また、 業遺 が日 いただいたおん 玉 [本ジオ 産に、 東 別府の るい 半 島 パー 話 姫 . 0) さ 皆 宇 題 島 ら 商 せ 3 が ク 村 佐

> なり ま り ンを デスティネーションキ 載お ず。 に積 光 ん 戦 も 資 登 こした。 こ 極的 見据えた取り 七年 源の磨きや受入態勢づく 0 録 さ -夏に行わ れ · 今年も ッチフレーご わおいた巡t 取り組んでま る 弾み な り組みなど、 れる 一日本 のつく ・ヤンペー ズに、 )味力も ツー J 47 IJ 平満 り R 0 ズ

会 議所にとり ま し 7 は、 待

貴

府 工 振興 市 わたり多大なるご尽力 別 一障害のあ ありま 府 市では、 をはじめとする市 意と感謝を る人も 本 年 ない し上 几 月 一げる 政 ŧ を 全 安別 次 賜 般

別府市長

浜 田

心

して安全に暮ら

せる条例(通

り、 す。 支え合う社 お Z 称:ともに生きる条例)』 互いに認め合い、 れ ます。 障 がいの有無に 会の この条例の施 実現 、思いやり、にかかわらず、 を目 が施 指し 行によ ま 行

> ま ご支援とご 47 境 域 り 死の充実、 す。 りま きるまちづくりを行ってま づくりを推 層 たいと思って 0) す。 康の増 らす全ての人が、 かな毎日を過ごすことが らの取り組みにより別 市 協 今 民と協 商 後とも、 近進 工振 力をお願い 進、 おります。より 教育、福 働」による 興に努めて 福祉の 多大なる いたし 生活 かで ま 環 向 地 41 府

市年制 を迎 の大いなる発 を これ 施 えま 行し から ょす。 。 ŧ 展 0

> 興大会が闘 中小企業の身近な支援団体としを契機として泉都別府を支える 後 益 かつ大き とを期 て 望 月に 結 0 層の指導力を発揮 々のご発展と会員 S) 待し に、 は ) な 節 全国 開 工 別府 ていま 催 [商工会議] 目 これるなど、 商工 1の年で が 竣 会 工 (の皆) され す。これ 議 し、 所 観 重 様 光 方今 要振

勝、 頭の挨拶とい ご活躍を祈念申し上 たします。

完成と、 躍を 支援とご協 市と同 興 7 に全力 まいりたいと考えて 会議所会員の ろうかと存じ 大会 も、 さつといたします。 また商 ij の 1 遂 ズ の開 を傾 だるため 様、 年は新し 全 工会議所にお 年が皆様に 大きな節目の大きな節目の 注してま のまちづくりの 力を賜 国商 しまして、 ます。 年 皆 -になり |様の多大なるご 工 0 。 り、 一会議 1 おります。 いりま 本 商 更なる飛 とりまし 年 年も 所観 工会館 かれ 年 ま 0 れ、 トとして 年、観光はおり、観光の らすよう 頭 商工 推 ま 進

別 。この9周年、 この90周年、 に大正3年に市 への契機とし NSENツ

ざ 春 をお迎え 平げ お別 45 新 かれ ます。 年明 ます。 府 、ましては、 工 け のこととお 会 ま して 議 所会 お 輝かし芸員の皆 8 慶び でとうご 申 い様 新方

-素より、 皆 様には 本 市 0 商 00

光庁

は

訪

日

外

玉

万人を突破したと

### 別府商工会議所 女性会

会長 梅野朋子

年の iのお 慶びを申 《権交代』 ま ます。

 $\dot{\exists}$ 

本国

型維新の年 に

明

っけから、

年

政

بح

ピッ 得なかった Ö ク・パラリンピック」を 、ベノミクスの三本の矢」 歳 |天間 消月に、 B返還合意: 「辺野古 東京二〇二〇オリン 歴代首 1移設] から実に十 相 が を大 成 が L

きく前さ -懐の勇 並々ならぬ を ij 应 ک スクを賭けた決断 ケ月ぶりに念願の靖 断 進 させ、 じた、 云う、 (姿を見た思いで 真 髄 決意 さらに、 安倍 小泉元首 私 から、 仏は安倍は 普三総 男 子 感 に 相 決 理国以靖 首 8 大参来国

げ 誰んで んで 新 年 0 お 慶び を

申

L

上

Y て E 別 おり G 府 商 ます寺崎賢治です。 第 I 完二十七代会長<sup>1</sup> 一会議所青年部 を拝り 命府

して多くの

事を遂行しなけ

れまでになっ

い大き

な

申益

健

勝、

ご多 新年

を

お 0)

祈

私

0)

せていただきます。

Z

を

取り

囲む全ての

皆

様

今

り後我

し」が課題になると大いにしかし、これから「おも しているようです。 今年は、 宣言しました。 別府 「おもて な

油 な 年であります。 温泉まつり ししは、 流行 屋 熊 八八翁 語 大賞を受け は、 別 が一一〇年前 府観光の先駆 一〇〇回 た 「お [記念の ŧ 我 著 17 0

> もてなしをして え 品であり、 た 旅 人 別 を 府 ね がは早く たと感心 んごろに 、から

です。 終わら 年こそ・・・今年こそ・・・ 経 た」の観光宣伝に乗って、微と大分県の「おんせん県おお 観光庁の ーシップを発揮して別 ばと志して 済繁栄に少しでも がら安倍首相にならってリー ないように臍をか **「ビジットジャパン」** いるの です 貢献し が、 む 府 思 な 市 で今 け 0 力 45

市

利開四月別 罹いたします。 -お楽 十二日 商 工 しみ慈 会 所 恒 女 パー 例 性 0 会 ティ は 「二〇年

込 まれています。 シ、 き 内容のある抽 酒会や会員 のアトラクシ 選会が

お 酒がついています。 枚三, 000 円で お 弁 当

上げまして、 えさせてい 皆さん、是非ご参加くださ **撻下さいますようお** 今後とも女性会にご指 ただきます。 新年のごな 挨拶に 願い申 導、 i

鞭

·勝利者(YEG) 常にあきらめな は 1\_

事わ 0 た九 賜 対 炒、 Û れ 開 今 旧 ~ \*と、これまで おす別府Yロ 7州ブロック大会 催、十二 年 年 /粋彩』 多大なるご理解ご協 度は、 中は私ども青年 誠にありがとうござい の開 一月は 九月に Ē G 別府 催 【別府劇に行われた 30 30 二月に の冬を 部 活 場 ま 力 動 彩 ま を

青年部会長

別府商工会議所

寺 崎 賢治

and are and an are are and a second a second and a second a second and ばなら な 激動 <u>の</u> 年となり ま

担 我

別

府の

未 地

0 発

日

々 Y

E

は

域

展

の

薫

研

修

を

み

重

ね

7 為に

お

り

別府に

有 積

事があっ

た際、

り迅ま々

決意し 道でも す。 成 事 功す 皆 り に、 8 臨 な勝 今 功することを 業 别 様 いでま 利者(YE る事 各事業にメンバー一丸とな もメンバー 府 0 い』のもと、 年 劇場 た事を決してあ 常にあきら 多く 度 が出 0) いいり 0 ス 来まし 力をお借 G  $\Box$ っました。 確信 の力を どんな困り ) めず、 1 ば 『冬粋彩』 ガンで 常に た。 きら 7 結 集 30 そして りし ま あ お し、題は あ  $\varnothing$ 0 難 き ま 年成 7 ず な 5 る

で、

皆様

 $\mathcal{O}$ 力し

変わらぬ温

0)

為に

尽

7

ま

17

り 郷・

ます

の府

し上げ

結びとなりま

らすが、

今

ŧ

指

鞭

撻をよろしく

お 情

41

申

願 深

きご

ます。 速に行動で

今

後も愛する故 できるよう考えて

別お

印刷からホームページ制作まで 株式会社 電子印刷センタ

〒874-0011 大分県別府市大字内かまど1393番地 TEL.0977-66-5365 FAX.0977-66-5383 E-mail:info@denship.co.ip



http://www.denship.co.jp/

月

+

九

Ę



40年表彰の代表で受け取る伊藤光一氏

わ 7 状 典 ヮ を 業 7 十手 精 所 は 従業員206名、 年渡勤に 永 す 千

飾 を 迎 た会員 兀 た る 年 壽 後、 優良 +健 冠 事 车 夫 業 本 従 年 会 五所 に 業以頭 対 +に 員 上か 年 5

祈 感 わ 所に ご活 鑚と 宝で 推 乗 す 41 0) 続 は、 <sup>′</sup>り、 たっ 活 7 振引念 謝 進 従 な は、 L 越 業 躍 努 も わ 用 に たえ、 ます」 あ ま 多 ち 財 続 7 員 を 力 業 が、き、 す。 祈が る。 大 商 を 員 企 は 業の な 激激 あ 工 念 0) 企 などと 十 な 皆 企 小 貢 会 励。 業 動 L つ てこ Ш お 献 議 年 0) ま さ 業 顔 0) す 永年 0 5 所 以 厳 ん 財 浩 を こそ。 述 層 0) 安 あ 61 事 上 し 産  $\sim$ 大分 ただ 業活 کے り、 会  $\exists$ 定 0 0 0 45 た。 員 永 三 繁 永 時 益 \(\pi\) あ 年 繁 り、 栄 き 動 き 代 事 Ø 0) ま を 0 に を 業勤 0 研栄た

た会述府博 部 議 市 興 議 所 後、 会 府 局 会 議市局 頭 長 長、 長 0 村が 知 祝 明 そ 吉 事 雷 夫れぞ 富 代 が 英三 理 披 日れ 露 祝郎 本 Z 浜県 商辞 • を別田東 れ T

き

がた 伊最 今 藤 後に 光  $\Box$ 勤 ま 3 ~ 統 ん 0) 几 永 (株) 年 花 歳 菱 月 彰 示 を、 を テ 受 Ĵν it 大

平成25年度 永年勤続者表彰式並びに 会員感謝状贈呈式

会員32事業所が晴れの受賞

工

が

Ŧi. 金

ンプ び 勤商 ら 会 議 贈 人関 員 呈に続 室 事 5 ラ が係 式 会者会 ザ 者 業 行 が 員 表議年 出物所わ国ビ感彰所度に 席 謝式永別平 百等れ際 Ī 슾 コ 七か 状 並 年 府 成

> 及す 乗 す が 企 者 状 不 0 る。 可切 る 欠。 る ま ま ~ 贈 ために 0 千 企 よう 景 業 は、 気 は、 経 な 口 頭 営 厳 未 復 は だ 0) お財 45 時 実 地 感じ 指 解 が 過 水 で 導 と 年

状 間 感

況

を

を

举力 続 従 (順不同・ 員

### 40 年

甲 事 ク 秀 井 自 吉 ル 広 別 斐 朩 & (株) シ 敏、 動 瀬 吉 本 府 テ 1) 恭 モ 車 透 利 観 遠 ĺν 釖 (株) 1 (有) (株) 光 藤 宮 **資** Ì 夕 九 田 後 バ 隆 和 1 電工 ス 中 石 義 久 藤 海 ス エ (株) 晋 (株) ()学 徳 美 別 地 伊 別 也 行 府大分合 緒 獄 藤 府 東 藤 交 杉 別 (株) 文昭 原 光 清 営 永電 乃 府 萬 耕 業 家 井 大 洋 所 心 光 文 (株) 気 同 朩 学 工 森 (有) 正 土 花 タ 陽

30 年

メ 妙和安 ぷ ガ ル 子 枝 部 日 K 芳 ネ 別 出 (株) 弘 工 農 角 府 萬 業 剜 野 業 洋  $\Box$ (株) 雄 1 府 協 村 プウ 佐 観 同 尾 藤 光 組 河 雅 哲 Í バ 合 也 野 俊 ス (株) (株) 明 須 地 (株)  $\sim$ 藤 熱 原 西 釒 ワ 宮 本 稔 0 囧

出原

農

業

協

百

組

合

次

Ì

3

智 お

亜

紀、

和

田

恵

美 大

ベ

つ

Šŝ 通

さ 拓 事 (株)

り

医

泉 ル

会 K

Ш

貴

郎

地

熱

ワ

Ì

工

(株)

立 石

川井

藤 Ш

内 本

由 幸

> 子 司

大

和 府

田  $\Box$ 

鮨

(有)

幸

和 エ

裔

剜

1

プウ

1

池

田

健

(株)

洋

産 業

業

1

な るに の諸 き 賜先た 勤 は物。 輩 0  $\aleph$ まだ GP. は、 地同 ま 方 僚事 彰 0 諸 業 を 遠 景氏主 受 0)  $\mathcal{O}$ け 65 気 道 回温深 る 復かい と り い理 を

が

れ

ま

0

上

に

努

力

を

重

典

を

締

力

の皆さん · 敬称略) め強ね、 大学 網 ル 宝 英 告 & 括 物 文 代 精 IJ 岩 諸 産 (株) 表 進 本真  $\blacksquare$ 長 (株) 謝 1 L 栄 田 辞 7 紀 吉 直 41 (株) 子、 岡 別 由 述 き以 義 笠 府 瀬 ま 井 信 衫 す 正 定 分 乃 英 学 Ł,

別

小 府

### 20 年 表

クシ

1

(有)

井

テ

合

同 大 朩

久保 (株) 市 中山 正 康 西 (株) 枝、 子 日 ょ 本 藤 清 ユ 圭 本 (株)ファ 61 信 水 ゥ 田 可 四 オー (株) 忠 丰 優 部 (株) 義 安 1 光 塩 美 ミリ 小 塚 朝 部 知 袁 綜 月 俣 弥  $\exists$ 組 子( 合 康 IE. Ì 電 生 新 博 田 孝  $\perp$ 設 朩 資 (株) 聞 業 仲 Ī 工 (株) 後 別 市 海 (株) 正 業 ム 別 府 藤 Ш 宏 地 平 稙 Ŧ 販 府 公  $\perp$ 獄 魚晴 (有) 務 田田 売 部

加盟施設

■べっぷ地獄めぐり ■大分マリーンパレス水族館「うみたまご」

■高崎山自然動物園 ■別府ロープウェイ ■別府ラクテンチ

■杉乃井ホテル ■九州自然動物公園アフリカンサファリ

■大分香りの博物館

TEL:0977-66-1577代)

TEL:097-534-1010 TEL:097-532-5010 TEL:0977-22-2278 TEL:0977-22-1301

TEL:0977-24-1141 TEL:0977-48-2331 TEL:0977-73-1111 TEL:0977-27-7272 (順不同)

観光施設連絡協議会 千壽 会長 健夫 〒874-0045 大分県別府市鉄輪559-1番地 TEL 0977-66-7931 FAX 0977-27-6657 くる別分が

ぞくぞくと施設がリニューアルして、ますます楽しくなった別府。 子どもたちはもちろんのこと、お父さんやお母さんにも きっと素敵な旅の思い出となることでしょう。

純 計

富恒三(大

(学)杉本唯、 ロタクシー 魔(杉乃) 史(永光ガス株)宇 法子(㈱サンクリ )安部 日 株)三原奈路洋二郎、 ポテル 長野 徳、 兄光夫、 |博(別 五力((学)別· |木正美(つ 二井 工 &リゾー 都 仲 1 府大 幸 宮 和 j. 雄 小 寿 夜

### 年

田

小

電

工

森

惠

雄、

葉マッサージ)秋好秀祐、 子(㈱ )古屋 福 す本家)藤 府 (美(別府地 り 尾宗晴(光 秀信(別府観光バス㈱ 手嶋浩文, 能 村貴志(株創 ダ 由 安部恵生、 久(株) イア企 香里、 大野勝元((資)海 田 品 仲悦 本ゆき ㈱)賀耒文美(侑 地獄組合) 中 武田 小野ひろみ、 画 央 合工業 泂 矢野義広、 元舎)綾 子(し 野弥 (有) 浩 生)鳥 )岐部 井上 一(株)別 栄(双 (株)長 島 智 地 部 区区 衛 美 安 辺 学)安部七 真 ル III(株) 浩 宮 志 エフ・シー 合 **略**千
恵 保 ポ 美 (東紀子(つるみ観光 田田 亮一、 野 )河野 (衛大一広告)山口 (株) )廣田 佑 (雄(ク

六峰

隆

(株)

※花菱ホテ

郎

(株)

エトーシン)

三江(侑

泉都物

産)渡

末永晴

美((学)別府

治、 子、 石知 草朋 藤 EΠ ) 一株)江戸 子、 富克 雄 洋 刷 後藤勇人、 本達 相 谷 良由 佐 (別府· 羽 安部 々木令子、 岡 遠藤信: 香((医)仁泉会) 大分合同 庄 Ŧ 田 吉田喜代田敬子、廣 と 黒 ₽ 濱 み 深澤 ロタク 田

栄

((資)草本 ンクリエイト)大嶋昌子(宝物 本由 太(べっぷ日出 Ш 恵、 邉 郁子、 [知之(今日新聞社)安 下 聡子、三重真愛、 商 工芸)小田美帆 池 店 猪間真実( 嶋 村信 藤井 曲 香、 也 |農業協| 清人、 草本博 ((株)ティ・ 園田 (株) 管 天 同 産 サ 部 組 俊 道 千美、 ジヨシ 藤 光 石

大 5 年

川修一、 健之(光: 篠田翔 中 笠置博子、 別 ロンロイヤ 島 﨑 陽 府 別 1寿子( 務 中 元 自 観 府 醤油 店)安部直 戯光バス株) 恵 裕 動 井 綜 一木貴文、 )小手川: 事有)工 (株) 加藤文哉、 廣田 合工 (株) (株)山 上晶· 別大興 ル)高  $\blacksquare$ 業㈱ [本貴大、 真 菙 )永弘 美 濱 理 ||木邦明、 藤 奈 晃(有) 産 富満浩 古荘瑞基、 子、 田 )佐 吉 慎 ()山中大 (株) 小 河町志、 徹 1田満(フ (也(株) 哲 関 御 藤 野 피 ヘアー ゥ 洋 島陽 謙 康 ス 後 窍 藤 藤 (有) 彦

新文學 里,也是一句,他不是一句,也是一句,是一句,是一句,他们也是一句,他们也是一句,他们是一句,他们是一句,他们也是一句,他们也是一句,他们也是一句,他们也 永年会員事業所の方々

### 40

理(有)(株)伊 1 命 やざき呉服 (有) いで湯 ゥ 原 保 egロンい 井写真植字社▼ 険 ル田 今村建具製作所 ヤス▼SATA 商 の宿侑 事 は対がみ▼松見 店▼ (有) 九神! 株) A i ダイヤ 大分支社 第 屋 屋別館 M I 文大同 h 商 ビル (株) マヘア 0 事 (株) 管 生. У 2

ボタPH

OTO

(株)

加 池 峯 降

)荒金

信

1辰生、

長 íц

(株)

外外

安東鮎美(有ち

ネー 洋 子 ステム▼森永 上薬品(株)▼ ム刺 繍店 (有) 双 盛 葉 盛商 牛 乳販 イマッ 完店 (株) サ R 1 & M シ 観

(順不同·敬称略)

### 30

舗 郡 Ī ·井手商 外 魚店▼水車 Ш ツフジワラマ (有) 建 堀 設 山 塾 ]店▼ 電気 株 (有) 橋本石 泂 (有) 原夕 ・ブックス玉 西方寺クレーン イコパン本 材 店 マスポ 屋

真琴、 中 美、 交 橋 克 府 (有) |屋志穂 大分合同 理(日 稔(つるみ観光㈱ 静 宏 / 永電 竹 (株) 曽我 伊藤 香 夢((医)仁 0 渡 あ (株)ティ・エフ・ 井 気 洋 邊将 公美、 村恵 けみ、 本 1名子美門、 美 朩 産 地 ロタクシ テル)斉 事 業 栗 熱 田 (株) 吉藤準、 安 泉 部 河 興 会)河 中 愛 阳 野 東 業 窪慎 美 南 純 光 仲 岳 ユウ子、 耀 シー 野 洋、 梶 秋 藤 高橋 川幸 竹秀 -松一(由別 修 渡邊 本 正 耶 柳 博



資金繰りを応援する景気対応緊急保証制度を実施しています

中小・小規模企業を全力をあげて応援します

お問い合わせは 大分みらい信用金庫の 本支店まで

二い携し、四側の

体

験

受講

も

兼ねた

ーお

お

[業セミナーイン別府] に

され、

名が

、二日目以際

降

を

## 平成20年度

### の実現へ 今年も卒業生巣立 第

年秋四九 で三回 の日 日 間 所主 の行 は 曜 開 Ē 大分県 日 程を終 催の創業塾 開 十一月十七 金 ·融支援· べえた。 が十 室と 日に 月十 連

る河 る心構えをテー 0) は、 河 初 定員を上 力向 .村会計 日 では、 雄 家となる上での 氏より、 金 7 0) 事務 |回る十二名が受 本所 創業支援策に 一融支援室の 秘 マに 所 訣 所長で税理・ 川副会頭 5 「志を学ぶ 創 として、 業に関 小県商 重要 でも 7 講 主 Τ. な す 士 あ



熱心に講義する河村貴雄氏

二十~八十代

0)

幅広

年齢

層

Ė

飲食業、

T 関 連、

旅

立行

理

祉、

PO法人設

木茂氏を講 ケテ は、 創を 師 わ クション 株)ジャ , ィング 明  $\exists$ 7 が 目

長の有田が ための着眼点へ 創業成功のを中心に、 ご受ける際 日本 哲 畄 岡創業支援セントーの のポ 二氏より、 0 イント アドバ 創業融  $\dot{o}$ 刷業融資ンター所 イス 詳 玉 細 民 が 生が 講義の様子

実際の事業業手続の流れ セス代表取締 自の事 につい 説明された。 三日目 簿 時評や今後<sup>(</sup> て学び、 てのアドバイス後、 事業計画の作成方法など 記の基本的 証が授し は、 収締役の菊池武1は、㈱キーフォ-れ 画のプレゼンを行っひ、最終日では、各 財務諸表の見 与され 0 的な考え方や開め菊池武司氏よ 事業の 進め方 1 受 氏
よ 叐

> を踏み 受講 生 が、 業に 向 け

> > ヤ

・シス

所

ど学べてとは聞けなり った」、 になり、 と B えていたプランを具 /分かった。 が持ち方や マー |学べてとても参考になった| 強く感じた」、 終了後のアンケートでは、 M W O 進 出 ・ケティングの考え方が モチベー \_\_ 初 日 場を分析する重要 顧客対象が違うよう 時間管理の考え方な 同じ 起業家としての 0 の道 ・ション 車でもベンツ 「悩んで 体的に 筋が 普 が いた 段 高 明 書 3 ょ 心 ~ ま 確 き

62

開業し

成

(功する事)

事業所を

増 行

し

捗 L

わせ、

継

続して支援を

たい。終了後

T 少 寄 創 を 部 ごせられな 国んだら、 U 業に向 担 通じて申込み 分 でも 当者 が 明 たは、 夢を切り け 確 ~ なっ 創 後も事業計画の別の開く手助に「創業塾を通ば たい」などの、 意気込みが を会 チ

業塾の開催等に力を入れてい な Þ 定。 事相 事業と位置付け、.相談所では、創業. たい」と話し がけ、来年度な 創業支援をも も 重 < 創要

# 専門家がアドバイスします!

### 月開 申

会」を毎月 3311) まで。 申込み・問合せは相談! な相 相談に 談 所 7 万開催し は、 対応する「無 経 営に 7 47 関 る。 料する  $\widehat{25}$ 談様

金 融 経 営相

場午 場所・市役所一階十前十時~午後四時・二月十二日 時 レセプシ

【特許相談

場午日 -後一時・二 所・市役所一 時三十分~午後 月十二 階 日 (水) レセプシ 四 時

▼完全予約制 ョンホール 国前 |際化相 までに 要予 談 約 相 談 H 0) 调 間

ョ場午日 ンホー 新・市 -後一時・二 ル Š 役 · 所 一 時 階 ・セプシ

月十二

 $\Box$ 

水

·完全予約制 までに予 談  $\Box$ 0) 调 間

> マル経資金 開 経 き、 資

じて

(八百六十万円) 今 11・12月は計6件を推薦 口 は、 +· 万 円) 営改 查、 運 度両 転  $\exists$ 

查

会

を

業者

のた。たのである。 六〇%となって 金利は1.60% な 審査、推薦を決定した六件(二千万円)を お、 年度第 ·金 金 の 談 現 現在の金利は) の申込みが設備資金三件 推 申 善 7八・九回目 1、平成二十 備資金決 込みの 規模事 「資金(マル 審

うあっ

四の進

け を

あっ

"是是是这种人,我们是一个人,我们是一个人,我们是一个人,我们们是一个人,我们们是一个人,我们们也是一个人,我们们是一个人,我们们是一个人,我们们们也是一个人, 【法律! 相

▼完全予約制 ▼場所・別府商 日時・二月二十 午後二 |時~午後四時(|組| 商工 会 四  $\exists$ 分

、 税務 税 発 村 大 応 **派急の場** 合

本 随 時 所 提携税理士 (完全予: 約 事 務 所

外国 方場日式所時 人創 個 業 訶 相 相 談談 密厳

日 本所提携行政書士事 随 時 (完全予算 約

場 方 別相 (秘密厳 務

市の物品納入業者

登録申請は2月中に-

三月三十一日(二年間)

問合せ先・

別府市役所契約検査課用度係

 $\widehat{21}$ 

▼その他

-成二十四・五年度に登録した全業者及び新規業者が対

約検査課用度係にある他、

申

類

競争入札

(見積) 参加資格申請書等の諸用紙

は、

市契

別府市役所のHPからもダウンロード可能。

税および消費税を完納していること。

いて引き続き二年以上健全な経営を継続していること。

資格条件・申請する業種で平成二十六年一

月一日にお

25・3311)担当:後藤・坂元まで。

○●○●編集後記●○●○●○

市

### セ 本所は、 (公財)日· 開 本 催 お 知 6

### 《ステップアップでクレームへの心構え》 対応研修 参加しませんか?

で実際にクレーム対応を行う。 言葉づかいなどを学 開催する。 同会は、クレーム ロールプレイング 講

師は、 マナープランニング代表の ロセス、対応に必要な基本から解決までのプ

·募集人数·二十名 ·日時・二月七日(金) 午後一時三十分~四 人三, 〇〇〇円。 受講料は、テキスト代を含めて 詳細については次のとお 000円。 協会会員は り。 分

クレーム対応研修会を

(金)に本所会議室にて

97·537·2171)

の共催で、

二月七日

電信電話ユーザ協会と

申込み方法・FAX(097・

ユーザ協会大分県北地区協会(0 ·問合せ先・(公財)日本電信電話 537.5169) 福田惠子氏。

学ぶ。 会から講師を招き、 と題したセミナーが開催される。 を交えながら今後の対応につい 営への影響や金融機関との付き合 融円滑化法終了後の企業の現状 五日(水)に本所大会議室にて、 吉之助部会長)の事業として、二月 方、 日で終了した、同法が与える経 同セミナーは、 本所理財・サービス業部会(神保 資金調達のコツなど、事 別府市金融懇 昨年三月三十 例

AN OR BARE OF EACH OF SERVICE OF 平成二十六・七年度に発注する物品の競争入 X:0977·26·2232)まで。 ·封の折込チラシをこちら(FA 問合せについては、(0977・ 参加費は無料。 募集を終了する。 五十名になり次 申込みは、

札参加資格申請に係る受付を次のとおり行う。

別府市は、

提出期間・平成二十六年二月三日~二十八日

(必着)

有効期間・平成二十六年四月一日~平成二十八年

りもあっという間に過ぎた気がし 迎えました。大学生活の四年間よ たいと思います。 うざいます。 社会人になって四回目の新年を 皆さん、あけましておめでとう 新たな一年を大切に過ごし

# 事例に学ぶ企業再生

H

~5年後の会社の姿を 想像できますか?~



自衛隊で培われた企画力・協調性・責任感などに優れていると雇用企業様等から高い評価を受けています。 「詳しくは」 http://www.mod.go.jp/pco/oita/07\_retire/retire.html

別府市大字鶴見4548 お問い合わせ 7874 - 0849- 1 4 3 自衛隊大分地方協力本部大分地域援護センター TEL 0977(22)1140

メールアドレス ooita-place-wa@inet.gsdf.mod.go.jp